

事業所アンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

事業所におけるごみ減量・リサイクルの実態、意識について把握し、現計画における施策の効果や、今後実施が求められる事項について整理します。また、集計・分析を行い、特性などを掴み、解決すべき課題の抽出を行います。

また、調査結果は、ごみの減量目標値の設定及び目標値を達成するための施策検討の基礎資料とします。

(2) 調査対象、調査期間

総務省の事業所母集団データベース（令和2年次フレーム）から無作為に選んだ事業所及び本市が事業系一般廃棄物減量化計画書等の提出を依頼している事業所を合わせた300事業所を対象とし、郵送による送付、回収を行いました。

調査票提出締め切り1週間前に、お礼状兼督促ハガキを発送しました。

なお、実施期間は以下のとおりです。

調査開始日	令和4年8月9日（火）
回答締切日	令和4年8月25日（木）

(3) 回収結果

発送数：300件	※うち減量化計画書対象事業所111件
回答数：114件	※うち減量化計画書対象事業所52件
回答率：38%	

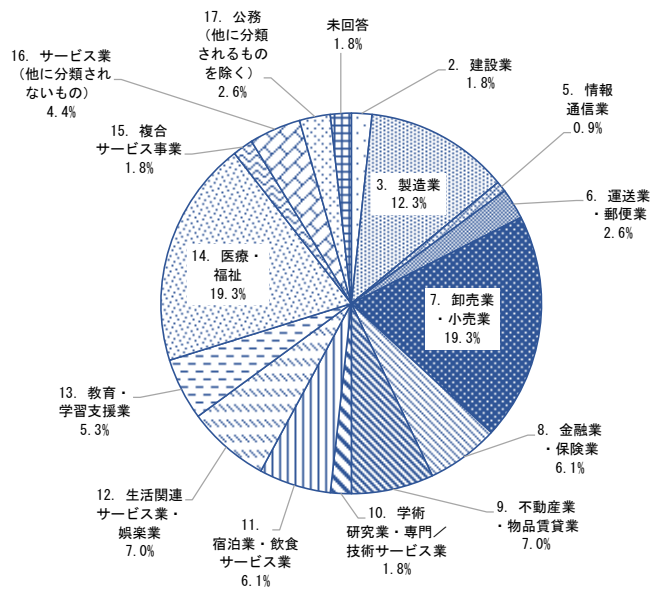
集計結果 （※構成比の合計は四捨五入の関係で 100%にならない場合があります。）

事業所のことについてお聞きします。該当する番号1つに○をつけてください。

業種

「7. 卸売業・小売業」、「14. 医療・福祉」が約19%と最も多く、次いで「3. 製造業」が約12%となっています。

選択肢	回答者数
1. 鉱業・採石業・砂利採取業	0
2. 建設業	2
3. 製造業	14
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	0
5. 情報通信業	1
6. 運輸業・郵便業	3
7. 卸売業・小売業	22
8. 金融業・保険業	7
9. 不動産業・物品賃貸業	8
10. 学術研究・専門・技術サービス業	2
11. 宿泊業・飲食サービス業	7
12. 生活関連サービス業・娯楽業	8
13. 教育・学習支援業	6
14. 医療・福祉	22
15. 複合サービス事業	2
16. サービス業（他に分類されないもの）	5
17. 公務（他に分類されるものを除く）	3
未回答	2
合計	114



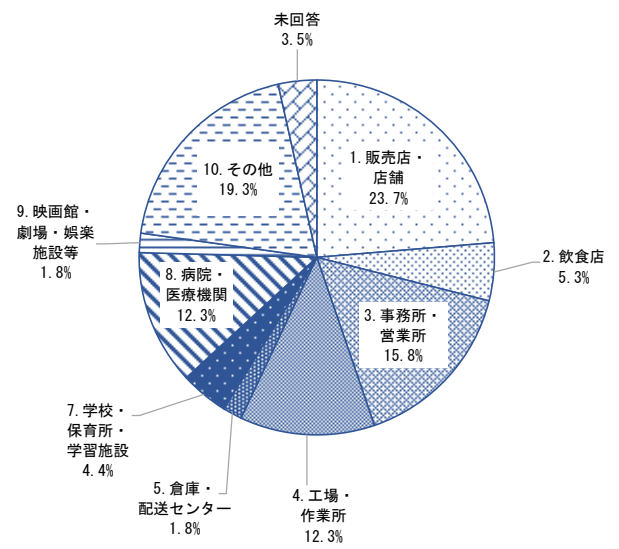
業務内容

「1. 販売店・店舗」が約24%と最も多く、次いで「10. その他」が約19%となっています。

「10. その他」22件中7件は、その他内訳「3. 高齢者施設/介護事業」で、次いで「2. 不動産管理」、「4. 金融機関」の各2件となっています。

選択肢	回答者数
1. 販売店・店舗	27
2. 飲食店	6
3. 事務所・営業所	18
4. 工場・作業所	14
5. 倉庫・配送センター	2
6. ホテル・旅館	0
7. 学校・保育所・学習施設	5
8. 病院・医療機関	15
9. 映画館・劇場・娯楽施設等	2
10. その他	22
未回答	4
合計	114

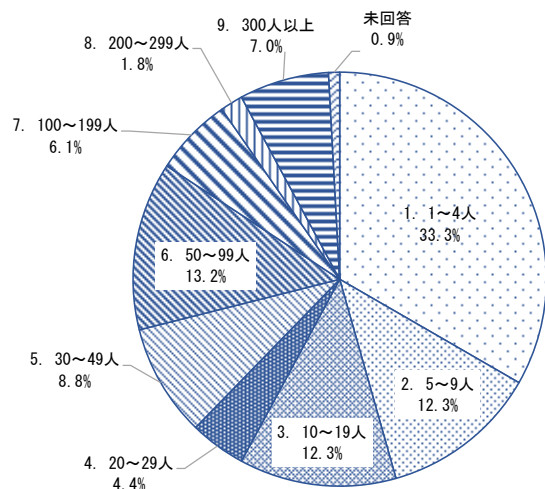
その他内訳	
1. 市役所	1
2. 不動産管理	2
3. 高齢者施設/介護事業	7
4. 金融機関	2
5. 葬祭業	1
6. ダム管理	1
7. 生花仕入卸	1
8. ハウスクリーニング等	1
9. 造園業	1
10. 土木作業	1
11. クリーニング業	1
12. カイロプラクティック・整体・マッサージ	1
13. ビル管理	1
14. 不明	1
合計	22



従業員数（非正規従業員含む）

従業員数で最も多いのは、「1. 1~4人」の約33%でした。次いで、「6. 50~99人」が約13%、「2. 5~9人」、「3. 10~19人」が約12%となっています。

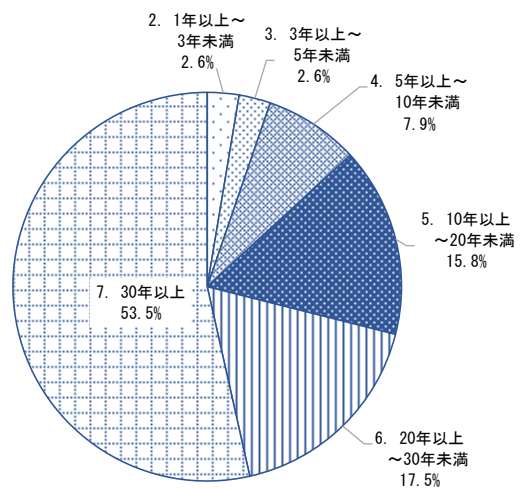
選択肢	回答者数
1. 1~4人	38
2. 5~9人	14
3. 10~19人	14
4. 20~29人	5
5. 30~49人	10
6. 50~99人	15
7. 100~199人	7
8. 200~299人	2
9. 300人以上	8
10. 未回答	1
合計	114



■事業所の営業年数 (※川西市内での営業年数です)

事業所の営業年数では、「7. 30年以上」で約54%と最も多く、次いで「6. 20年以上～30年未満」が約18%となっています。

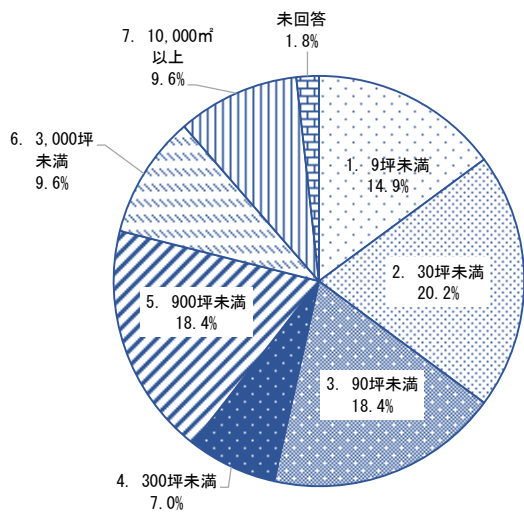
(件)	
選択肢	回答者数
1. 1年未満	0
2. 1年以上～3年未満	3
3. 3年以上～5年未満	3
4. 5年以上～10年未満	9
5. 10年以上～20年未満	18
6. 20年以上～30年未満	20
7. 30年以上	61
合計	114



■延床面積 (※よく分からない場合はおおよそで結構です)

延床面積は、「2. 30㎡以上～100㎡ (30坪) 未満」が約20%と最も多く、次いで「3. 100㎡以上～300㎡ (90坪) 未満」、「5. 1,000㎡以上～3,000㎡ (900坪) 未満」が約18%となっています。

(件)	
選択肢	回答者数
1. 30㎡ (9坪) 未満	17
2. 30㎡以上～100㎡ (30坪) 未満	23
3. 100㎡以上～300㎡ (90坪) 未満	21
4. 300㎡以上～1,000㎡ (300坪) 未満	8
5. 1,000㎡以上～3,000㎡ (900坪) 未満	21
6. 3,000㎡以上～10,000㎡ (3,000坪) 未満	11
7. 10,000㎡以上	11
未回答	2
合計	114

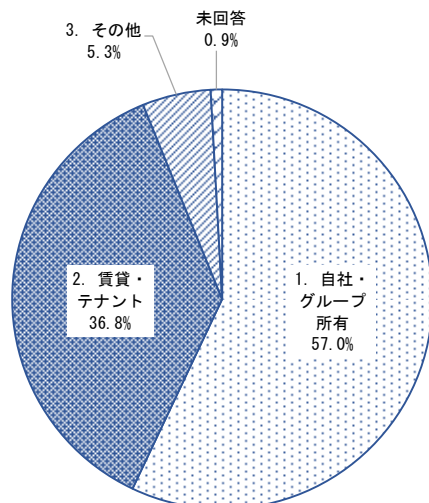


■事業所の所有形態

1. 自社・グループ所有 2. 賃貸・テナント 3. その他 ()

事業所の所有形態は、「1. 自社・グループ所有」が約57%と最も多く、次いで「2. 賃貸・テナント」が約37%となっています。

(件)	
選択肢	回答者数
1. 自社・グループ所有	65
2. 賃貸・テナント	42
3. その他	6
未回答	1
合計	114



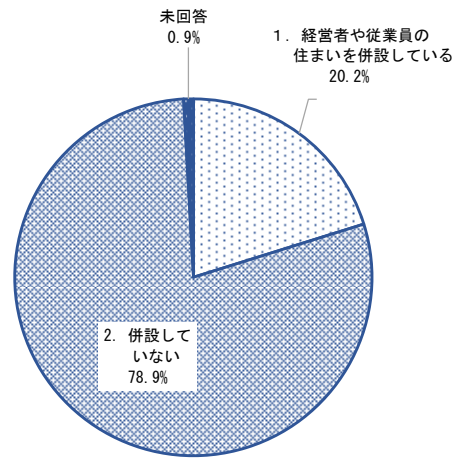
■住宅併設

1. 経営者や従業員の住まいを併設している

2. 併設していない

「2. 併設していない」が約79%、「1. 経営者や従業員の住まいを併設している」が約20%となっています。

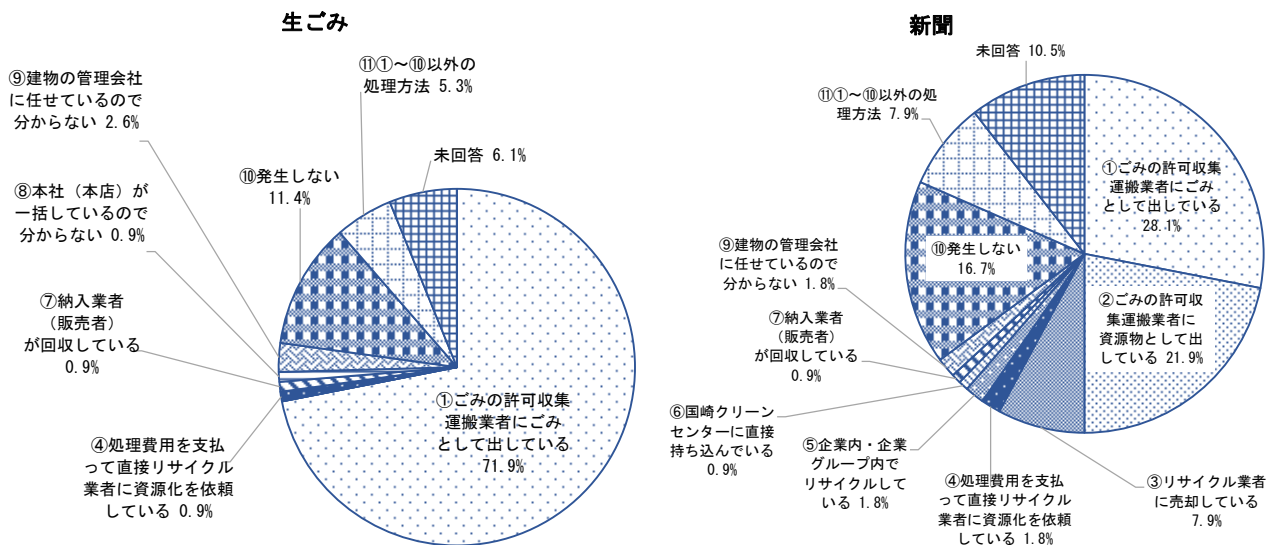
選択肢	回答者数
1. 経営者や従業員の 住まいを併設している	23
2. 併設していない	90
未回答	1
合計	114



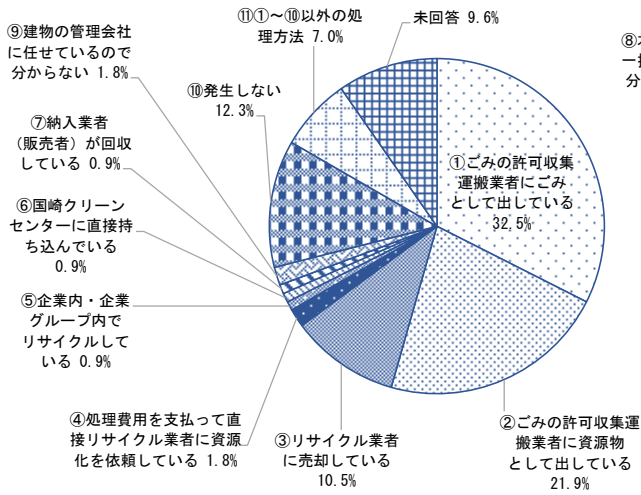
ごみの排出及び資源物のリサイクルについて

問1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物をどのように処理していますか。各品目の処理方法を下記の選択肢から該当する番号をそれぞれ選んで、番号を記入してください。（複数の場合は多いものを記入してください）

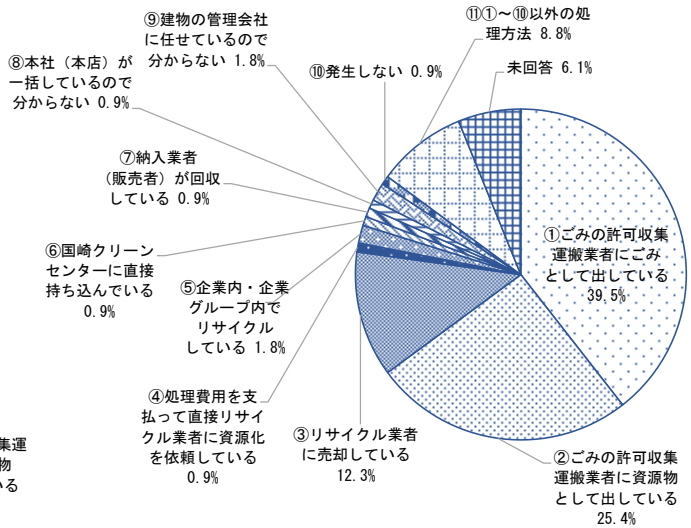
全体的に「①ごみの許可収集運搬業者にごみとして出している」、「②ごみの許可収集運搬業者に資源物として出している」の回答が多くなっています。
雑誌や段ボールなどの紙類は「③リサイクル業者に売却している」が多くなっています。



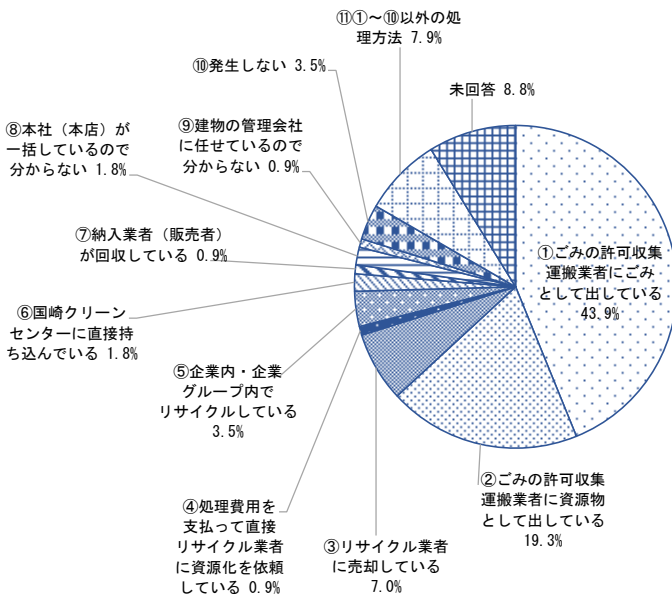
雑誌



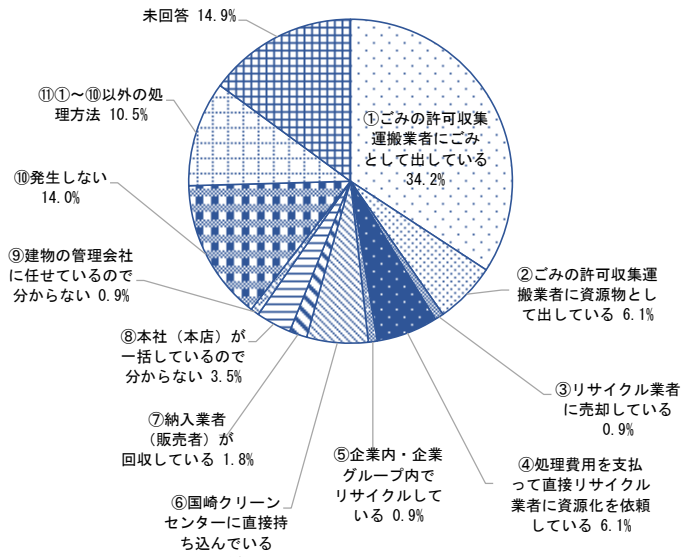
段ボール



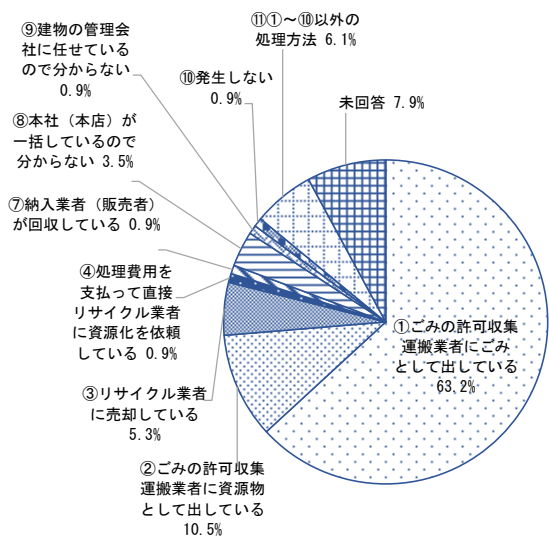
コピー用紙、OA用紙



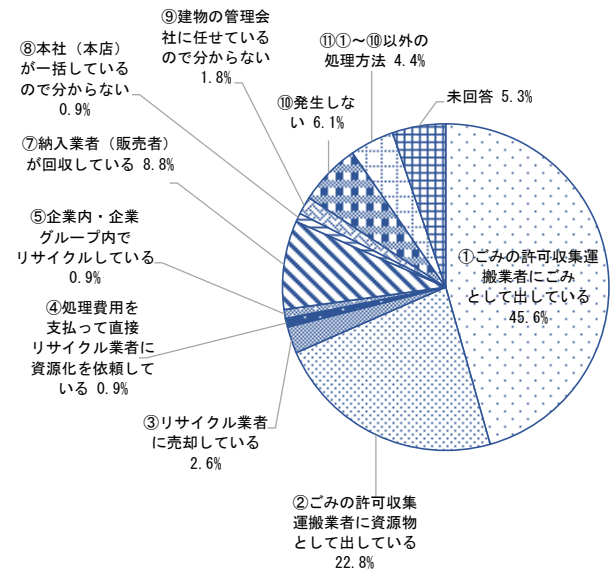
機密文書



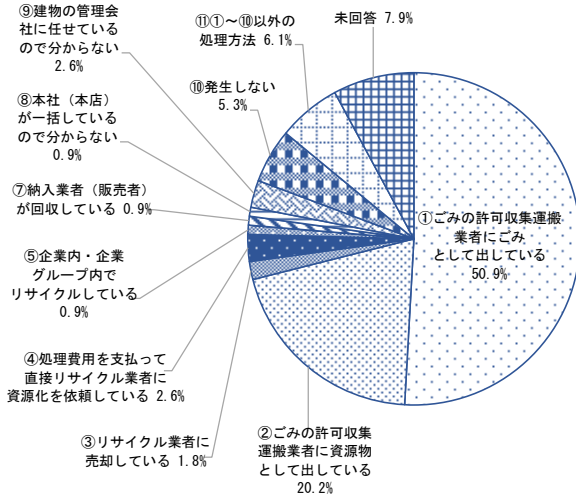
雑紙



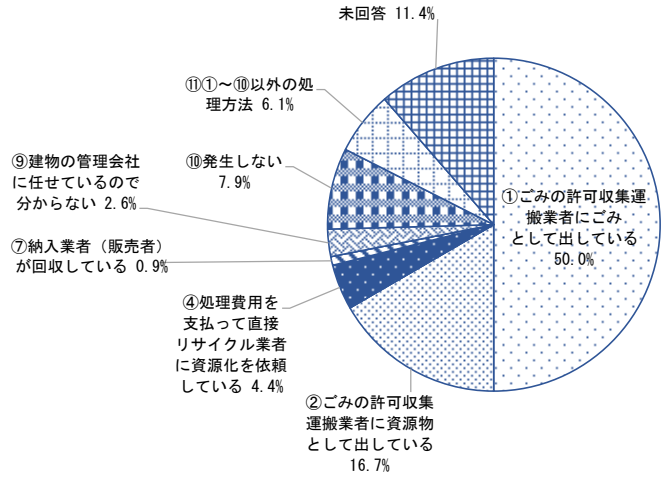
ペットボトル



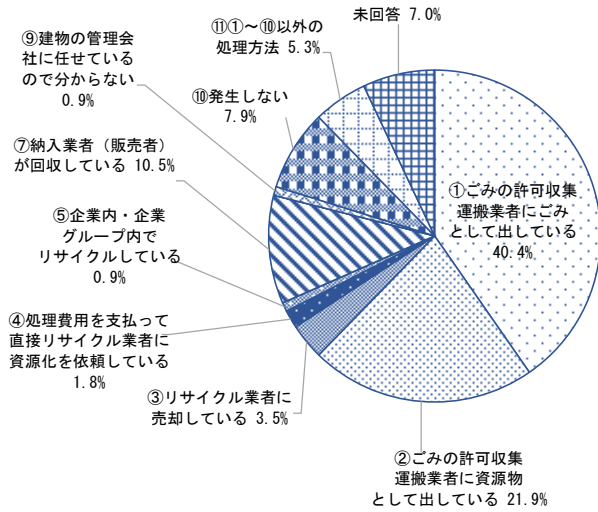
プラスチック製容器包装



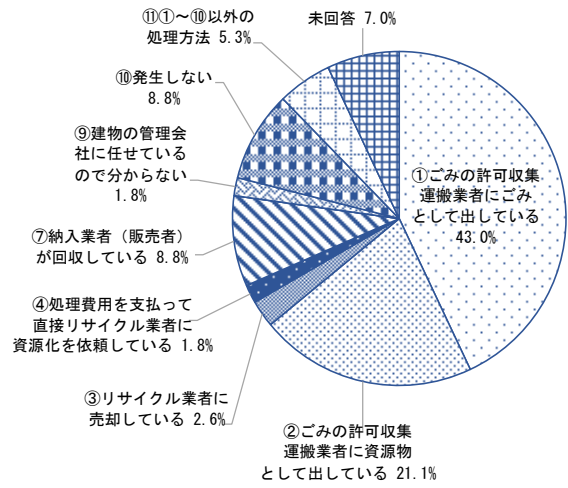
製品プラスチック



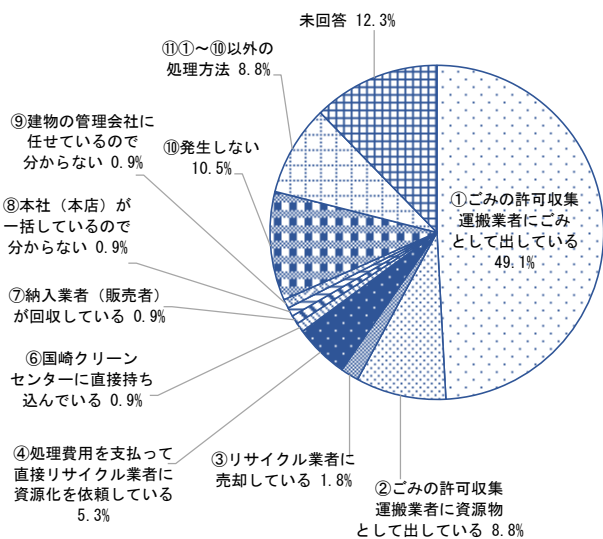
カン



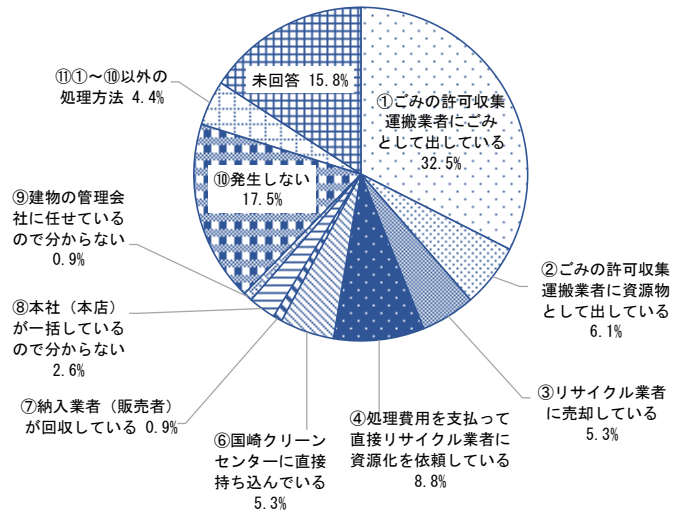
ビン

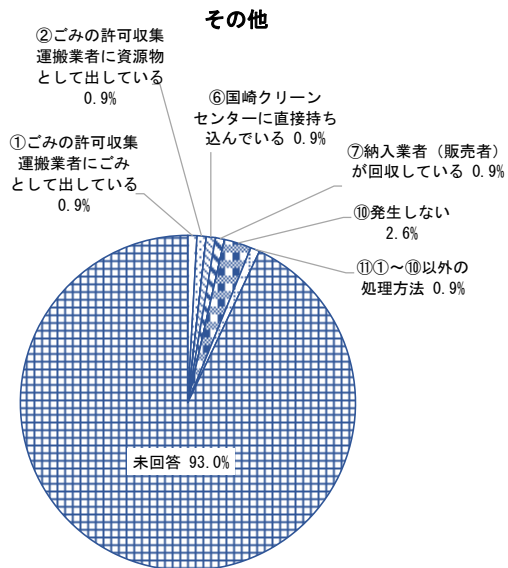


燃やさないごみ



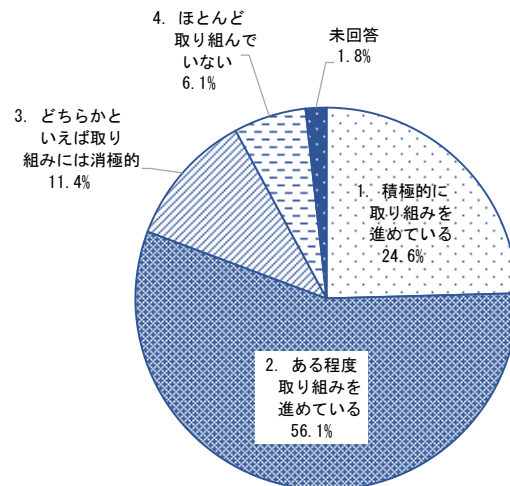
大型ごみ





問2 貴事業所のごみの減量・リサイクルに関する取組についてお聞きします。(〇は1つ)

「1. 積極的に取り組みを進めている」、「2. ある程度取り組みを進めている」を合わせると約81%を占めており、意識の高さがみられます。



	(件)
	回答者数
1. 積極的に取り組みを進めている	28
2. ある程度取り組みを進めている	64
3. どちらかといえば取り組みには消極的である	13
4. ほとんど取り組んでいない	7
未回答	2
合計	114

問3 貴事業所では、ごみの減量・リサイクルに関してどのような取り組みを行っていますか。

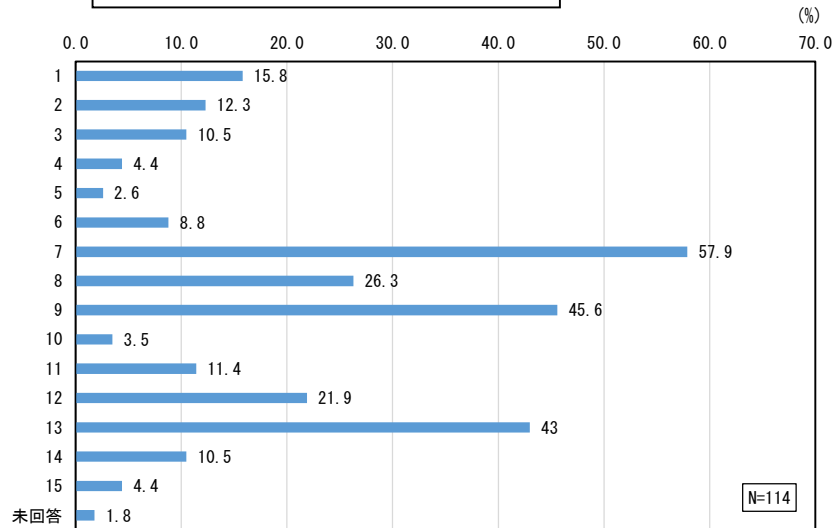
(〇はいくつでも)

選択肢	回答数
1. 減量目標を定めて、ごみの減量に取り組んでいる	18
2. ごみの減量化やリサイクルを事業所内に呼びかけている(ポスターや注意書きの掲示など)	14
3. ごみの減量化やリサイクルを推進する部署や担当者を設置している	12
4. ごみの減量化やリサイクルのマニュアルを作成している	5
5. ごみに関する検討委員会や組織を設置している	3
6. 取引先や納入業者に簡易包装等の省資源化や通い箱の使用を依頼している	10
7. 書類のペーパーレス化に努めている	66
8. 古紙回収箱を設置している	30
9. カンやビンの分別回収箱を設置している	52
10. 周辺の事業所と協働して古紙をリサイクルしている	4
11. 排出するごみや資源物の軽量を行っている	13
12. 紙コップなど使い捨て製品の使用削減に努めている	25
13. 再生紙など再生用品の使用に努めている	49
14. 特に取り組んでいない	12
15. その他	5
未回答	2
合計	320

「7. 書類のペーパーレス化に努めている」が約58%と最も多く、次いで「9. カンやビンの分別回収箱を設置している」が約46%、「13. 再生紙など再生用品の使用に努めている」が約43%となっています。

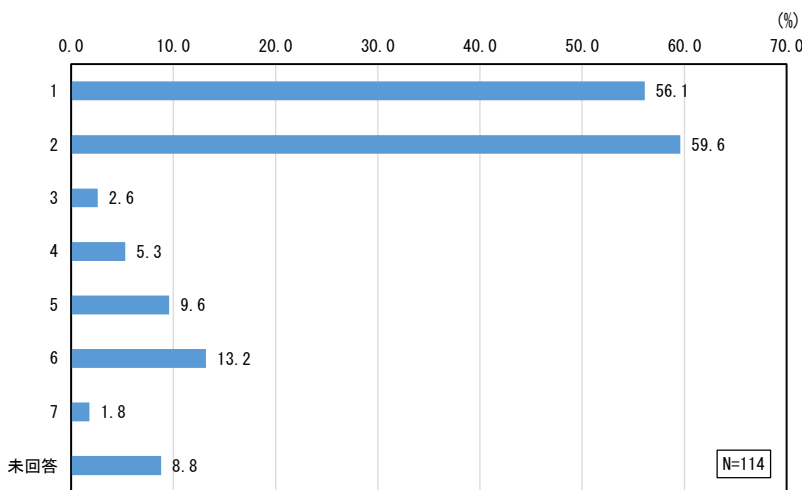
《「その他」の記述》

- ・コピー用紙の裏面利用
- ・グループ会社のルールに従い取り組みを実施



問4 貴事業所で、ごみの減量・リサイクルに取り組む主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

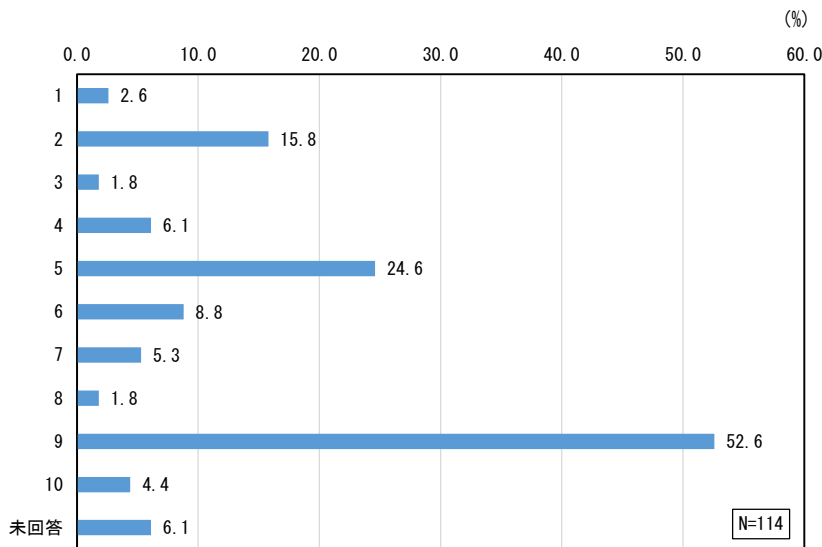
「2. 会社の社会的責任を果たすため」が約60%と最も多く、次いで「1. ごみを減らすことでコスト削減につながるため」が約56%となっています。



選択肢	回答数
1. ごみを減らすことでコスト削減につながるため	64
2. 会社の社会的責任を果たすため	68
3. 会社の宣伝はイメージアップを図るため	3
4. ISO14001等の認証を取得した(または取得したい)ため	6
5. 法律で定められているため	11
6. 会社全体で規定されているため	15
7. その他	2
未回答	10
合計	179

問5 近年注目が高まっている食品ロスの削減について、貴事業所で取り組んでいることはありますか。
(〇はいくつでも)

「9. 特に取り組んでいない」が最も多く、次いで「5. 食品ロスが発生しないよう発注、製造数量の調整をしている」となっていますが、これは、【業務内容】を見てもわかるように、9割の事業所が食品を取り扱わない業務内容であるからと推察できます。



(件)

選択肢	回答数
1. 3010運動を呼び掛けている	3
2. 従業員への呼びかけ、教育	18
3. 「川西市食べ残しゼロ運動」に登録している	2
4. フードドライブを実施(主催・協力)している	7
5. 食品ロスが発生しないよう発注、製造数量の調整をしている	28
6. 賞味期限・消費期限等が近づいた商品の値引きを行っている	10
7. 商品の「てまえどり」を呼びかけている	6
8. 発生した生ごみをたい肥化している	2
9. 特に取り組んでいない	60
10. その他	5
未回答	7
合計	148

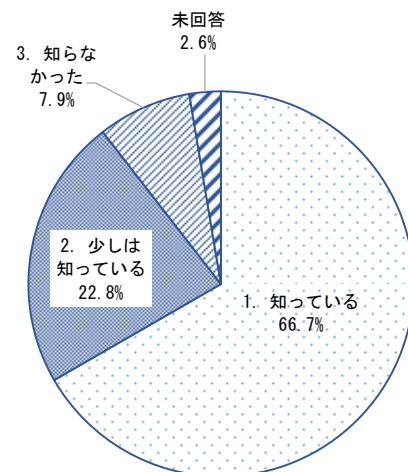
《「その他」の記述》
 ・食べ残しゼロ運動のポスターを掲示している。
 ・事業所自体が食品を取り扱っていない

問6 事業活動によって発生するごみは事業者の責任において処理することが義務付けられています。このことについて知っていましたか。(〇は1つ)

約67%の方がごみの処理における事業者の義務について「1. 知っている」と回答しています。

(人)

	回答数
1. 知っている	76
2. 少しは知っている	26
3. 知らなかった	9
未回答	3
合計	114

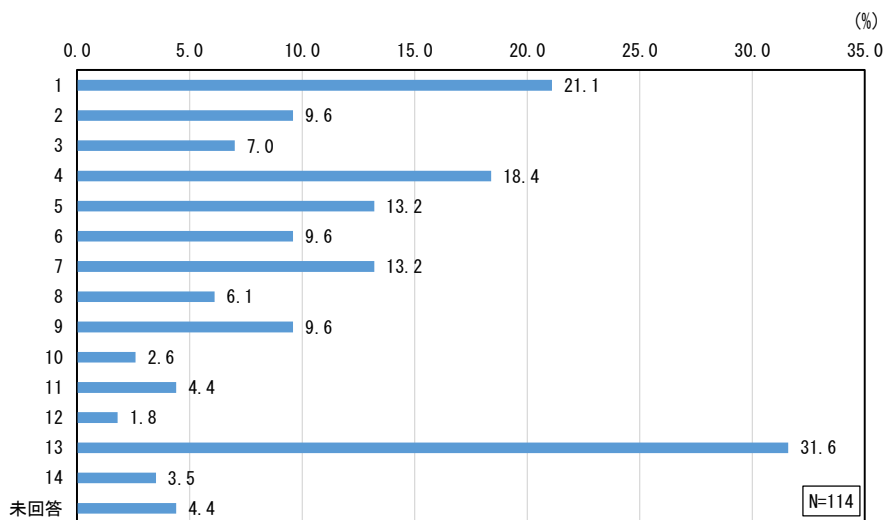


問7 貴事業所で、ごみの減量・リサイクルを進めていくうえでの主な問題点は何ですか。

(○はいくつでも)

選択肢	回答数
1. 資源物を保管しておく場所がない	24
2. 資源物やリサイクル可能な不用品の引渡し先(回収業者)が分からない	11
3. 従業員に分別の徹底やごみ減量の意識を浸透させることが難しい	8
4. 資源化できるものが出ない、または発生量が少ない	21
5. ごみの減量化、分別に手間がかかる	15
6. ごみの減量化、分別に費用がかかる	11
7. 機密書類が多く、リサイクルが難しい	15
8. 処理しにくいごみが増えた	7
9. 産業廃棄物との区別が難しい	11
10. 分別や排出方法のルールがわからない、理解しにくい	3
11. 本店(本社)に決定権があるため、リサイクルに関しても本店(本社)の指示に従うしかない	5
12. ごみ処理について質問や相談するところが分からない	2
13. 特に問題なく取り組んでいる	36
14. その他	4
未回答	5
合計	178

「13. 特に問題なく取り組んでいる」が最も多くなっています。一方で、「1. 資源物を保管しておく場所がない」や「4. 資源化できるものが出ない、または発生量が少ない」といった事が問題点として挙げられています。

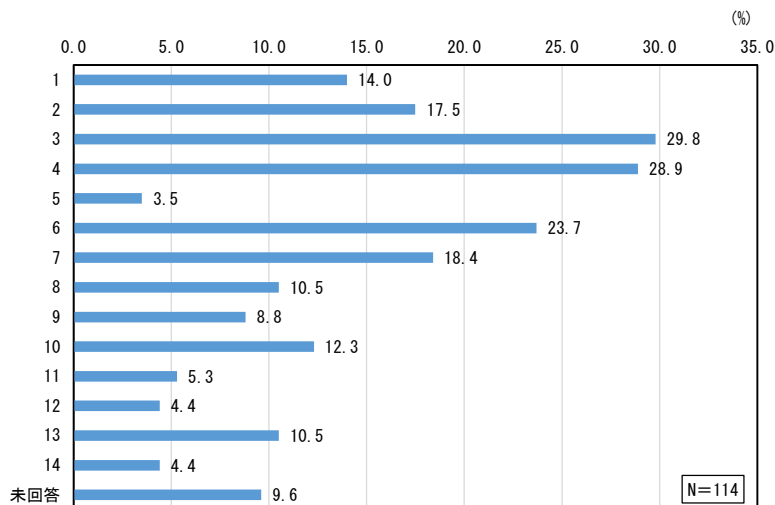


《「その他」の記述》
 ・管理会社に任せている為わからない
 ・ペーパーレスに取り組みたいですが、紙ベースで行うことが多いので、難しいです。

問8 貴事業所で、今後ごみの排出量を減らしたり、リサイクルに回したりしたいと考えている品目はありますか。(○はいくつでも)

「3. 段ボール」が最も多く、次いで「4. コピー用紙、OA用紙」、「6. 雑紙類」と全体として紙類が多くなっています。

選択肢	回答数
1. 生ごみ	16
2. 新聞、雑誌	20
3. 段ボール	34
4. コピー用紙、OA用紙	33
5. 機密文書	4
6. 雑紙(メモ用紙、伝票、封筒、空箱、シュレッダーくず)	27
7. ペットボトル	21
8. プラスチック製容器包装	12
9. 製品プラスチック	10
10. カン	14
11. ビン	6
12. 燃やさないごみ	5
13. 大型ごみ	12
14. その他	5
未回答	11
合計	230

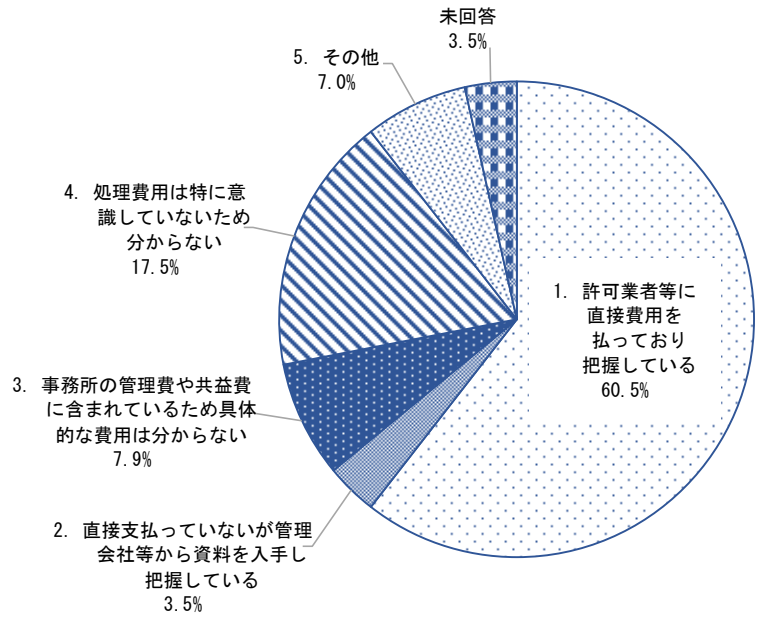


《「その他」の記述》
 ・発泡スチロール
 ・鉄

問9 ごみ処理にかかっている費用について把握していますか。(〇は1つ)

「1. 許可業者等に直接費用を払っており把握している」が約61%と最も多くなっています。一方で、「3. 事務所の管理費や共益費に含まれているため具体的な費用は分からない」、「4. 処理費用は特に意識していないため分からない」を合わせると「分からない」が約25%を占めています。

選択肢	回答者数
1. 許可業者等に直接費用を払っており把握している	69
2. 直接支払っていないが管理会社等から資料を入手し把握している	4
3. 事務所の管理費や共益費に含まれているため具体的な費用は分からない	9
4. 処理費用は特に意識していないため分からない	20
5. その他	8
未回答	4
合計	114



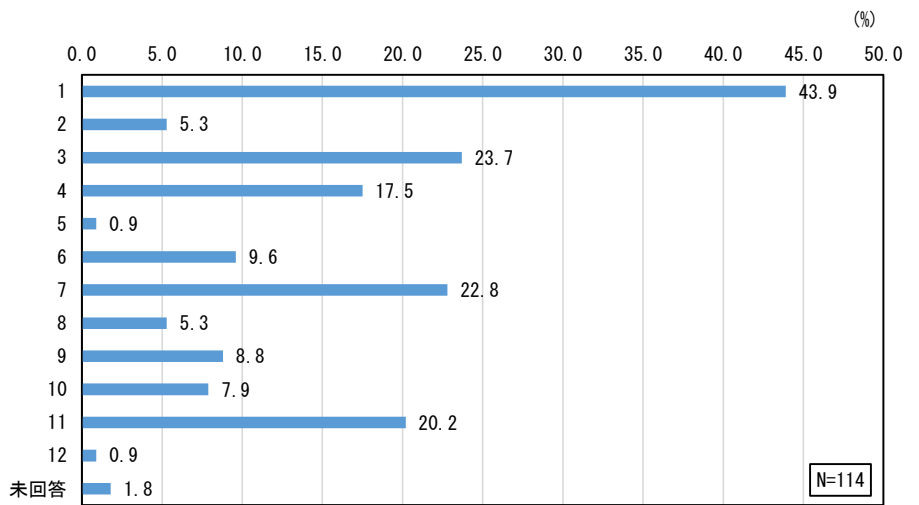
《「その他」の記述》

- ・本社で把握している
- ・ごみの許可収集運搬業者にごみとして出しているため費用はかかっていない

問10 ごみに関する情報をどのようにして入手していますか。(〇はいくつでも)

選択肢	回答数
1. 広報かわにし「milife」	50
2. ごみ行政特集「Rあ〜るかわにし」	6
3. 広報紙「森の泉」(猪名川上流広域ごみ処理施設組合)	27
4. インターネット(市のホームページ)	20
5. インターネット(猪名川上流広域ごみ処理組合のホームページ)	1
6. 市役所や国崎クリーンセンターへの問い合わせ	11
7. 収集運搬業者への問い合わせ	26
8. 同業者や加盟団体など	6
9. 新聞、テレビ、雑誌	10
10. インターネット	9
11. 特になし	23
12. その他	1
未回答	2
合計	192

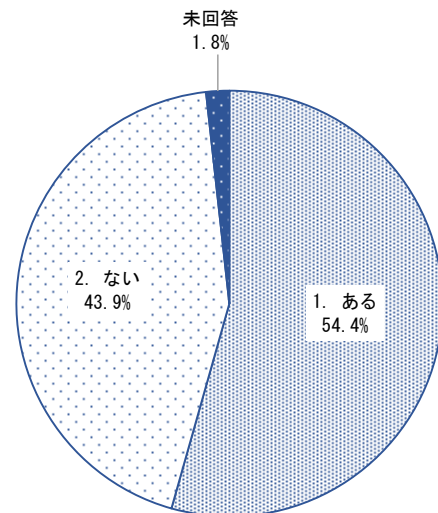
「1. 広報かわにし「milife」が最も多く、次いで「3. 広報紙「森の泉」、7. 収集運搬業者への問い合わせ」となっている



問 11 貴事業所には「ごみの分け方・出し方パンフレット（令和4年4月～）」の冊子がありますか。
（〇は1つ）

約54%の事業所が「1. ある」と回答しています。
一方、約44%が「2. ない」と回答しています。

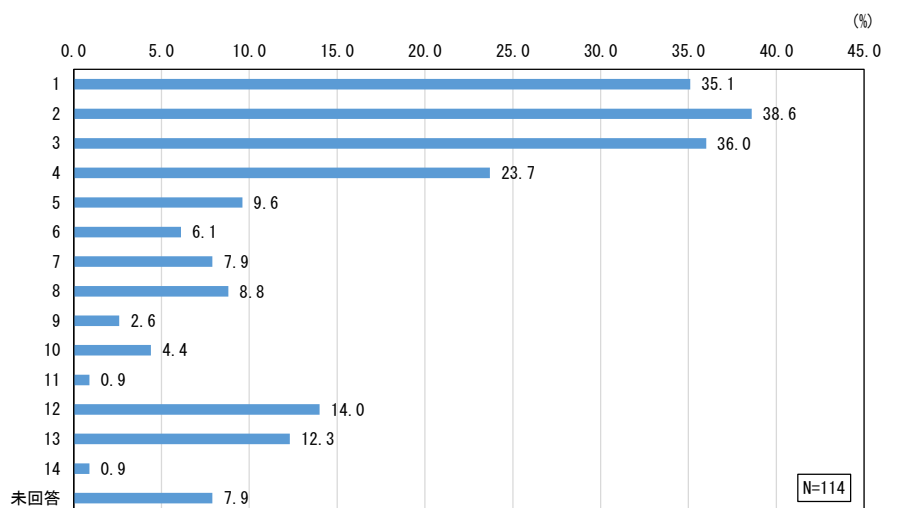
	(人)
	回答数
1. ある	62
2. ない	50
未回答	2
合計	114



問 12 ごみの減量・リサイクルを進めていくうえで、取り組みを促進するためにはどのような施策が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「2. ごみ減量・リサイクル手法の紹介（事例紹介）」が最も多く、次いで「3. ごみ減量・リサイクルマニュアルの提供」、「1. 事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発、指導」となっています。
一方で、少数ではありますが、「9. 罰則制度の強化・徹底」や「11. 事業系ごみ処理手続き料の引き上げ」等の回答もみられます。

選択肢	(人)
	回答数
1. 事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発、指導	40
2. ごみ減量・リサイクル手法の紹介（事例紹介）	44
3. ごみ減量・リサイクルマニュアルの提供	41
4. ごみ収集運搬業者、処理業者に関する情報提供	27
5. 法令や条例等の規制に関する情報提供	11
6. ごみ処理に関する相談窓口や体制の充実	7
7. 事業者を対象とした廃棄物の講習会の開催	9
8. 優良事業所の紹介や表彰	10
9. 罰則制度の強化・徹底	3
10. ごみ収集運搬業者の指導強化	5
11. 事業系ごみ処理手続き料の引き上げ	1
12. 生ごみや剪定枝の堆肥化等、新たなリサイクル事業の展開	16
13. 社内研修などによる従業員の意識向上	14
14. その他	1
未回答	9
合計	238



一定規模以上の事業所を対象に、毎年、事業系一般廃棄物減量化計画書の提出を依頼しています。
 調査票の提出につきまして、ご協力いただきありがとうございます。
 事業系一般廃棄物減量化計画書提出対象事業者の方は、下記の同計画書に関する質問にお答えください。

(事業系一般廃棄物減量化計画書の目的)

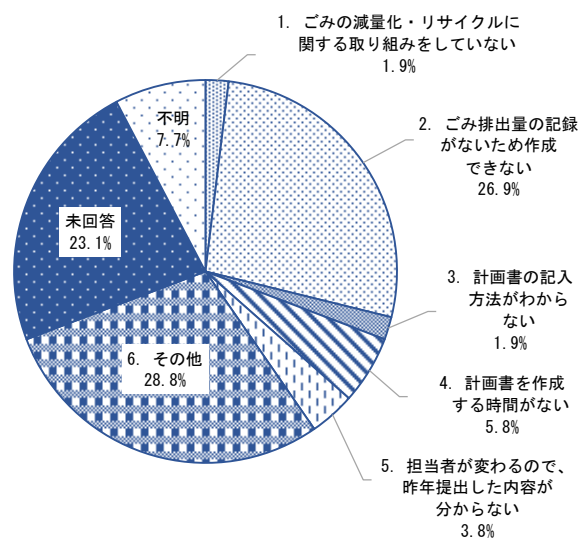
市では、事業系一般廃棄物の減量化・リサイクルの促進を目的として、一定規模以上の事業所などを対象に毎年、事業系一般廃棄物減量化計画書の提出を依頼しています。この計画書により、各事業所の減量・再資源化施策や廃棄物の処理実績を調査しています。

問 13 減量化計画書の提出にあたり問題となることはありますか。(〇は1つ)

「1. その他」が約29%で最も多く、「特になし」や「毎年提出して、問題ありません。」などの回答が多くを占めています。次いで「2. ごみ排出量の記録がないため作成できない」が約27%になっています。

(件)

選択肢	回答者数
1. ごみの減量化・リサイクルに関する取り組みをしていない	1
2. ごみ排出量の記録がないため作成できない	14
3. 計画書の記入方法がわからない	1
4. 計画書を作成する時間がない	3
5. 担当者が変わるので、昨年提出した内容がわからない	2
6. その他	15
未回答	12
不明	4
合計	52

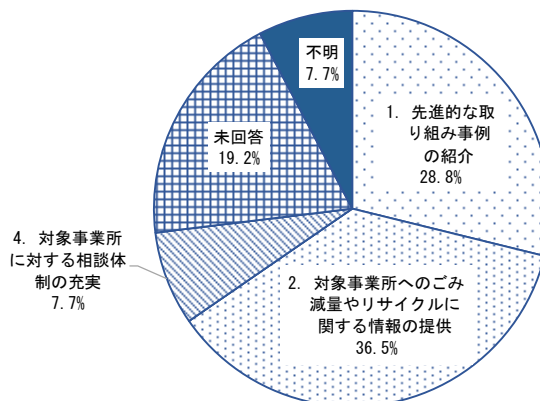


問 14 減量化計画書の活用について、重要だと思うのはどのようなことですか。(〇は1つ)

「2. 対象事業所へのごみ減量やリサイクルに関する情報の提供」が約37%と最も多く、次いで「1. 先進的な取り組み事例の紹介」が約29%となっています。

(件)

選択肢	回答者数
1. 先進的な取り組み事例の紹介	15
2. 対象事業所へのごみ減量やリサイクルに関する情報の提供	19
3. 提出された計画書の情報公開	0
4. 対象事業所に対する相談体制の充実	4
5. その他	0
未回答	10
不明	4
合計	52



ごみ減量・リサイクルについてのご意見などを自由にお書きください。

記述内容（ご意見等）
<p>リサイクル業者のイメージが良好ではないと思います。市から業者の紹介ページをホームページ、冊子に載せて頂きたいです。</p> <p>又、弊社では、金属くず、アルミ（有価物として排出済み）、プラスチック、紙類、ビニール（有価物として排出済み）、ガラスくずを業者に排出とリサイクルをお願いしています。有価物としてゴミを廃棄する方法をもっと知りたいです。</p>
<p>いつもありがとうございます。弊社、大変規模が小さい為、個人のごみと区別がついておりません。個々人として、ゴミに向き合いたいと思います。</p>
<p>私は永く洋菓子製造の仕事をしておりました。今は・その知識・技術をいかし、企業・大学・製菓学校等から依頼があればそこに赴き仕事をします。したがって弊社では全くごみは出ません。間に×をつけたのはその為です。</p>
<p>弊社はペーパーカンパニーのため、ごみは発生しておりませんが、発生する場合に備えて、ペーパーレス化を推進しております。</p>
<p>うちは1人で営業しているのでごみは紙くず程度しか普段は出ないので問題ないと思います。</p>
<p>ゴミは分別して出すようにしています。</p>
<p>リサイクルは、段ボール、紙類は、地域のリサイクルに出す。小規模なのでゴミ減量出来ない。</p>